

いまし げう強村てに。な。を描

まなく凧の絵柄を描く参加者



講演する吉村さん

**元国連職員・吉村さん講演**  
**雄物川生かし**  
**地域活性化を**……大仙

国連本部環境審議官などを歴任した水道の専門家で、水に関するコンサルティングなどを手がけるグローバルウオータ・ジャパン代表の吉村和就さん（秋田市出身）が20日、大仙市のゲストハウスフォーシーズンで講演した。「世界と日本の水問題 雄物川と大仙市」と題し、水資源や雄物川を活用した地域活性化を提

言した。

県内で下水汚泥を堆肥化したり、下水処理水で酒米を栽培したりしている事例を紹介。さらに、県外では下水処理水によるアユ養殖、サツマイモ栽培、栽培したサツマイモによるバイオマス発電の例もあるとして、「下水処理水によるサツマイモ栽培が、食料問題とエネルギー問題を解決する。下水処理場近くにイモ畑を作れば秋田の経済を救うのではないかと『水増し』の話をしている」と笑いを誘っ

た鬼女の顔が描かれ、ツツガムシ退治の願いが込められているとされる。

同好会の小野育明会長（74）は「揚子風は高く揚がるほか、急降下や左右の回転などが自

在にできる高い操作性で全国に知られている。地元で根付いた財産であり、次世代に引き継げるよう取り組んでいく」と話した。

（小林智彦）

**議会ファイル**

◆大曲仙北広域市町村圏組合 定例会を26日開き、23年度各会計決算認定案、24年度一般会計補正予算案、職員給与条例改正案など7件を可決、認定した。

23年度一般会計決算は歳入

た。

寒冷地で外気や雪を活用してデータセンターを冷却する例があるとして「大仙市はデータセンター誘致も一つの戦略。雇用につながる」と提言。市に対して「水を大切にしてい、持続可能な発展を考えていかなければならない。花火ばかりではなく、雄物川河川敷をうまく使って水上レストランやカヌー、ドローンの大会など多くの人が来るビジネスを起し、どんどん発展させることを考えてほしい」と注文をつけた。

講演会は秋田銀行大曲支店取引先企業の会「あきぎん平成会」が同支店開設130周年を記念して開催した。吉村さんは、現在の横手市大雄地域の地主で、貴族院議員や秋田銀行監査役を務めた土田万助の孫。

（佐藤拓）